

第三セクターの経営改善計画の進捗状況について

「第三セクターの見直しに関する指針」により、単年度収支及び剰余金がマイナスの第三セクターは「経営改善計画」作成の対象となることから、次の2社が経営改善計画を作成している。

① 「経営改善計画」作成対象第三セクター

1) (株) フォレストア鳥海 (ホテル フォレストア鳥海)

計画期間 令和4～6年度

⇒ **【市運営費補助金 28,000 千円・民間貸付金 1,984 千円 (秋田銀行)】**

2) (株) ほっといん鳥海 (伏見、笹子農産物直売所ほか)

計画期間 令和6～8年度

⇒ **【経営悪化に伴い R6 より経営改善計画策定】**

② 内部検討委員会での点検・評価について

経営改善計画は、毎年度、行政改革推進本部の内部検討委員会で進捗管理を行うこととしており、上記2社から、令和6年度の決算資料及び、経営改善計画の進捗状況に関する自己評価の提出があり、これをもとに7月23日の検討委員会にて点検・評価を行っている。

③ 各社の進捗状況等 (詳細は「資料2」のとおり)

1) (株) フォレストア鳥海

< 計 画 >

- ・令和6年7月より、新たな代表取締役兼支配人を迎えての経営となり、季節毎の集客戦略等による売上拡大や、要員確保、経費節減等を計画していた。

< 実 績 >

- ・台湾を中心としたインバウンドや冬期宿泊助成事業により、宿泊客が一定程度増加したものの、年度当初のレジオネラ菌の発生や、大雨災害の影響、調理部門での人員不足による機会喪失等により売上げが計画を下回った。
- ・当期損益は赤字で、市の運営費補助金を除くと債務超過状態が続いており、計画は未達成となった。

2) (株) ほっといん鳥海

< 計 画 >

- ・直売部門の販売手数料の値上げ、食堂部門の客単価の向上、冬期間の人件費削減等により黒字化を目指す計画。

< 実 績 >

- ・食堂部門の客単価は向上したが、販売手数料の値上げは翌年度から実施となった。
- ・冬期間の時間短縮等、経費節減にも努めているが、除雪経費の増加や、最低賃金の上昇による人件費の増加等により3年連続で赤字となり、改善計画は未達成となった。

④ 達成状況を踏まえた市の対応

(株)フォレスト鳥海については、令和7年度より新たな経営改善計画の策定、(株)ほっといん鳥海には現在の計画の見直しを求め、今後の進捗状況によっては、不採算部門の存廃や、法人のあり方についても検討する必要がある。

⑤ その他の第三セクターの状況

1) (株)岩城(岩城道の駅ほか)

⇒ **【指定管理終了により R5.4 解散。R7.3 清算終了】**

2) (株)大内町交流センター(大内道の駅ほか)

⇒ **【経営悪化に伴い指定管理者辞退。 R6.8 解散。R7.7 清算終了】**

3) (株)鳥海高原ユースパーク(ミルジーほか)

⇒ **【人員不足等により指定管理者辞退。 R7.3 解散】**

4) (株)黄桜の里(東由利道の駅ほか)

⇒ **【経営悪化に伴い指定管理者辞退。 R7.3 解散】**

5) にしめ物産(株)(西目ふるさと資源活用センター)

第三セクター各社の令和6年度決算状況

(単位：千円)

名称		にしめ物産 株式会社	株式会社 ほっといん鳥海	株式会社 フォレスト鳥海
R5 決算	資本金	30,000	30,000	50,000
	剰余金	23,298	5,400	▲ 42,583
	純資産	53,298	35,400	7,416
	当期 純利益	▲ 3,302	▲ 2,945	▲ 7,442
	売上高	124,927	45,552	157,456
	人件費	24,029	29,182	72,190
	市支出額	3,065	8,493	41,140
	指定管理料	3,065	6,761	—
	エネルギー価格 高騰対策等補助 金	—	1,732	13,140
	運営費補助金	—	—	28,000
市貸付金	貸付残高 R7.3.31見込	—	—	—
	貸付内容 償還方法	—	—	—
民間借入金		3,920	—	3,988
R5 純利益		104	▲ 1,540	694
R4 純利益		3,675	▲ 1,271	5,044
R3 純利益		▲ 1,551	221	▲ 9,912
R2 純利益		2,975	1,008	24,739
R1 純利益		501	161	▲ 394
H30 純利益		177	526	▲ 8,179
H29 純利益		▲ 5,951	▲ 212	▲ 12,721
H28 純利益		▲ 3,236	124	▲ 5,730

※ 剰余金は、これまでの当期利益又は当期損失の累計額

※ 純資産がマイナスということは、資産よりも債務が多いということであり債務超過

※ 当期純利益がマイナスということは、単年度決算において赤字